



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社fonfun 上場取引所 東

コード番号 2323 URL <https://www.fonfun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水口翼

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 コーポレートソリューション本部長 (氏名) 八田修三 TEL 03-5365-1511

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後営業利益 (EBITDA)		営業利益		経常利益		四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 1,401	% —	百万円 324	% —	百万円 195	% —	百万円 231	% —	百万円 254	% —
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 254百万円 (−%) 2025年3月期第3四半期 — 百万円 (−%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後	
		1株当たり 四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	円 銭 12.11	円 銭 11.98	
2025年3月期第3四半期	—	—	

(注1) 調整後営業利益 (EBITDA) = 営業利益+のれん償却費+顧客関連資産償却費+減価償却費+株式報酬費用

(注2) 2026年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の数値については記載しておりません。

(注3) 2026年1月30日付で、株式1株につき3株とする株式分割を行っております。当第3四半期連結会計期間の期首に、株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期第3四半期	百万円 2,643		百万円 1,205		% 44.1	
2025年3月期	—		—		—	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,166百万円 2025年3月期 — 百万円

(注) 2026年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の対前年同期増減率については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 2,101	% —	百万円 266	% —	百万円 300	% —	百万円 326	% —

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- (注2) 2026年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年3月期の対前年同期増減率については記載しておりません。
- (注3) 2026年1月30日付で、株式1株につき3株とする株式分割を行っております。「1株当たり当期純利益」は本株式分割後の株式数により算定しております。
- (注4) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第3四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。業績予想の修正については、2025年12月10日に公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想並びに新中期経営計画の業績目標の達成状況に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 1社 (社名) 株式会社マイクロウェーブデジタル、除外 - 社 (社名) -

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	21,294,120株	2025年3月期	21,294,120株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	291,612株	2025年3月期	284,832株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	21,005,955株	2025年3月期3Q	20,503,704株

(注) 2025年2月1日付及び2026年1月30日付の株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定した株式数を記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、2026年2月17日（火）19:00より、ライブ配信による決算説明会の開催を予定しております。また、使用する決算説明会資料はTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(企業結合等関係) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

当社は、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。そのため、前第3四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。参考情報として、一部前年同期の提出会社の個別の財務諸表との比較を記載しております。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)の当社を取り巻く環境に関しては、デジタルトランスフォーメーション(以下、DX)市場やクラウド関連事業において、クライアント企業の産業全体に変革を起こすDXへの取り組みがより一層加速しており、また経済産業省を中心とした政府が掲げるDXレポートにおいても、「2025年の崖」と称される複雑化、老朽化、ブラックボックス化した既存システムが残存した場合に想定される国際競争力の低下などの諸課題への解決にむけて、DXシナリオの重要性が高まるなど高成長が期待される市場として未だ注目を集めています。

このような環境の中、当社は、持分法適用会社でありました株式会社マイクロウェーブデジタルについて、2025年12月1日付で同社の発行済株式の80%を追加取得し、完全子会社といたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間より連結決算に移行しております。

事業面におきましては、当社グループは、クラウドソリューション事業において、SMS配信サービス「バンソウSMS」、モバイル端末向けWebメールサービス「リモートメール」、クラウド電話「CallConnect」、飲食店向け日々決算プラットフォーム「れすだく」等のストック収益ビジネスを拡充させております。DXソリューション事業においては、クライアント企業のレガシーシステムからの脱却等のDX支援を行っており、技術解決の知見を蓄積させております。加えてDX関連事業基盤構築に向け、グループ全体でのデジタル人材の拡大を着実に図ってまいりました。

このような状況の中、当社グループは「テクノロジーで社会をもっとスマートに。」をミッションとして掲げ、社会貢献に資するDXソリューションを提供できるよう当社の既存事業の収益を維持しつつ、新たなサービスの企画・提供を実施しております。

### 【当第3四半期連結累計期間の実績】

以上の方針のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりとなりました。

なお、2025年3月期第3四半期は提出会社個別の業績を記載しております。

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
売上高	857百万円	1,401百万円	544百万円	63.5%
営業利益	89百万円	195百万円	105百万円	118.9%
経常利益	106百万円	231百万円	124百万円	117.8%
四半期純利益	76百万円	254百万円	177百万円	232.0%

当社の各セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、2025年3月期第3四半期は提出会社の個別の業績を記載しております。

(セグメント別売上高)

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
クラウドソリューション事業	559百万円	722百万円	163百万円	29.3%
DXソリューション事業	298百万円	679百万円	380百万円	127.5%
合計	857百万円	1,401百万円	544百万円	63.5%

(セグメント別営業利益又は損失△)

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
クラウドソリューション事業	182百万円	255百万円	72百万円	39.7%
DXソリューション事業	49百万円	75百万円	25百万円	51.8%
調整額	△143百万円	△135百万円	7百万円	△5.3%
合計	89百万円	195百万円	105百万円	118.9%

※ 調整額とは、全社費用（セグメントに帰属しない一般管理等）をいいます。

#### ① クラウドソリューション事業

クラウドソリューション事業は、当社が以前より提供してきた、SMS配信サービス「パンソウSMS」やモバイル端末向けWebメールサービス「リモートメール」をはじめとする、主にSaaS型のサービス群を包含する事業となります。

#### ② DXソリューション事業

DXソリューション事業は、顧客それぞれのニーズにより向き合い、データとテクノロジー、顧客のビジネスへの深い理解をもって、企業・社会全体のDX化を推進し顧客と共にビジネスをプロデュースしていく事業となります。「ソフトウェア開発」、「技術者派遣」などの具体的なソリューションを通じてDX化を支援しております。

なお、当第3四半期連結会計期間に完全子会社化した株式会社マイクロウェーブデジタルについては、本事業に該当いたします。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### ① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,056百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金643百万円、売掛金325百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、1,587百万円となりました。主な内訳は、のれん1,185百万円、顧客関連資産109百万円、繰延税金資産106百万円であります。

#### ② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、799百万円となりました。主な内訳は、未払金307百万円、1年内返済予定の長期借入金212百万円、短期借入金83百万円、買掛金60百万円であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、638百万円となりました。内訳は、長期借入金620百万円、退職給付引当金18百万円であります。

#### ③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,205百万円となりました。主な内訳は、資本金10百万円、資本剰余金847百万円、利益剰余金487百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年12月10日に発表しました業績見通しに変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金		643, 202
売掛金		325, 080
その他		87, 990
貸倒引当金		△202
流动資産合計		<u>1, 056, 071</u>
固定資産		
有形固定資産		1, 436
無形固定資産		
のれん		1, 185, 805
ソフトウエア		4, 171
顧客関連資産		109, 120
その他		731
無形固定資産合計		<u>1, 299, 828</u>
投資その他の資産		
関係会社株式		54, 491
関係会社長期貸付金		100, 000
繰延税金資産		106, 734
長期未収入金		446, 726
その他		23, 765
貸倒引当金		△445, 316
投資その他の資産合計		<u>286, 400</u>
固定資産合計		<u>1, 587, 665</u>
資産合計		<u>2, 643, 737</u>
<b>負債の部</b>		
流动負債		
買掛金		60, 671
短期借入金		83, 268
1年内返済予定の長期借入金		212, 652
未払金		307, 067
未払法人税等		397
その他		134, 948
流动負債合計		<u>799, 004</u>
固定負債		
長期借入金		620, 048
退職給付引当金		18, 939
固定負債合計		<u>638, 987</u>
負債合計		<u>1, 437, 992</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金		10, 000
資本剰余金		847, 245
利益剰余金		487, 142
自己株式		△177, 799
株主資本合計		<u>1, 166, 588</u>
新株予約権		39, 155
純資産合計		<u>1, 205, 744</u>
負債純資産合計		<u>2, 643, 737</u>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
売上高	1,401,782
売上原価	832,890
売上総利益	568,891
販売費及び一般管理費	373,873
営業利益	195,018
営業外収益	
受取利息	2,354
持分法による投資利益	40,499
貸倒引当金戻入額	1,350
その他	3,515
営業外収益合計	47,719
営業外費用	
支払利息	11,114
その他	513
営業外費用合計	11,628
経常利益	231,109
特別利益	
段階取得に係る差益	11,286
貸倒引当金戻入額	1,500
特別利益合計	12,786
税金等調整前四半期純利益	243,895
法人税、住民税及び事業税	397
法人税等調整額	△10,841
法人税等合計	△10,443
四半期純利益	254,339
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	254,339

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 2025年4月1日  
至 2025年12月31日)

四半期純利益	254,339
その他の包括利益	—
<b>四半期包括利益</b>	<b>254,339</b>
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	254,339
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (追加情報)

(連結の範囲の重要な変更)

当社は、2025年12月1日付で株式会社マイクロウェーブデジタルの株式を追加取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	クラウド ソリューション 事業	DX ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	722,766	679,015	1,401,782	—	1,401,782
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	722,766	679,015	1,401,782	—	1,401,782
セグメント利益	255,047	75,710	330,758	△135,740	195,018

(注) 調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (のれんの金額の重要な変動)

「クラウドソリューション事業」セグメントにおいて、2025年8月5日付で株式会社porteraが運営するオンライン診療の法人向け福利厚生サービス「らく診」事業の譲受を行っております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において1百万円であります。

「DXソリューション事業」セグメントにおいて、2025年6月1日付でインバウンドテクノロジー株式会社が運営するITフリーランスマッチング事業の譲受を行っております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において62百万円であります。また、2025年12月1日付で、当社持分法適用会社である株式会社マイクロウェーブデジタルの全ての株式を取得し連結子会社としております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において276百万円であります。

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間  
(自 2025年4月1日  
至 2025年12月31日)

減価償却費	1,671千円
のれんの償却額	82,324千円
顧客関連資産償却額	27,621千円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2025年12月1日開催の取締役会において、当社持分法適用会社である株式会社マイクロウェーブデジタル(以下「MWD社」といいます)の全持分を完全子会社化すること(以下「本完全子会社化」といいます)について決議し、同日付でMWD社の発行済株式の80%を追加取得し同社を当社の完全子会社としております。

## 1 概要

(1) 事業譲受の相手先の名称および取得した事業の内容

相手先の名称：株式会社マイクロウェーブデジタル

事業の内容：システム開発、デジタルマーケティング支援、エンジニアリングサービス

(2) 企業結合を行った主な理由

2025年9月22日にMWD社を持分法適用会社として以降、当社グループは、同社と協業体制を構築し、システム受託開発事業およびSES事業における事業連携や開発リソースの最適化を進めてまいりました。その結果、事業シナジーの創出や人材連携の強化が進み、グループとして一定の成果を確認しております。一方で、成長ステージの加速やガバナンスの一層の強化、ならびに事業基盤の拡大・人材戦略の推進に向けては、より迅速かつ統合的な意思決定と経営管理が必要であるとの判断に至りました。これらを踏まえ、当社はMWD社を完全子会社化し、グループ一体体制を確立することで、経営資源の最適配分、グループ横断での技術力強化、ならびに財務・ガバナンス体制の強化を図ってまいります。本完全子会社化は、当社が2023年9月25日に公表した新中期経営計画「プロジェクトフェニックス」の実現に向け、持続的な企業価値向上と事業成長基盤をより確固たるものとするための取り組みの一環であります。

(3) 企業結合日

2025年12月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

株式会社fonfun

(6) 取得する議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率	20%
現金対価により取得した議決権比率	80%
取得後の議決権比率	100%

2 第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年12月1日～2025年12月31日

3 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	持分法適用時の対価（現金）	16百万円
	追加取得時の対価（現金）	120百万円
	合計	137百万円

4 段階取得の損益の金額

段階取得に係る差益 11百万円

5 主要な取得関連費用の内容及び金額

企業価値等算定費用 0百万円

6 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生するのれんの金額

276百万円

なお、上記金額は、企業結合日における識別可能資産及び負債の特定並びに時価の見積りが未了であり、取得原価の配分が完了していないため、暫定的な金額であります。

(2) 発生原因

主として、システム受託開発事業およびSES事業における超過収益力であります。

(3) 債却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

7 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	279,086千円
資産合計	279,086千円
流動負債	385,839千円
固定負債	20,000千円
負債合計	405,839千円

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2025年12月25日開催の取締役会決議に基づき、2026年1月30日付で株式分割の実施及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

1 株式分割の目的

当社普通株式の投資単位を引き下げるにより、投資家の皆様にとってより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層のさらなる拡大を図ることを目的としております。

2 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2026年1月29日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式1株につき3株の割合をもって分割しております。

(2) 分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式総数	7,098,040株
② 株式分割により増加する株式数	14,196,080株
③ 株式分割後の発行済株式総数	21,294,120株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	51,000,000株

(3) 分割の日程

① 基準日公告日	2026年1月14日
② 基準日	2026年1月29日
③ 効力発生日	2026年1月30日

3 定款の一部変更について

(1) 定款変更の理由

株式分割の割合に応じた発行可能株式総数の増加に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、当社定款の一部を変更しました。

(2) 定款変更の内容

変更箇所に下線を引いております。

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当会社の発行可能株式総数は <u>17,000,000株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当会社の発行可能株式総数は <u>51,000,000株</u> とする。

(3) 定款変更の日程

① 取締役会決議日	2025年12月25日
② 効力発生日	2026年1月30日

(共通支配下の取引等)

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、2026年3月31日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社マイクロウェーブデジタル（以下、「MWD社」といいます。）を消滅会社として吸収合併することを決議しております。

1 合併の目的

MWD社は、2025年9月にM&Aを通じて当社の持分法適用会社となり、同年12月に当社の完全子会社となって

おります。当社グループは、2023年9月25日開示の新中期経営計画において、「DX」による付加価値最大化を実行可能な企業集団を目指すことを基本方針としており、クラウドソリューション事業とDXソリューション事業を運営する親会社である当社による直接的な事業運営体制をとることで、事業効率の向上・投資意思決定の迅速化を実現し、さらなる事業拡大を加速してまいります。

## 2 合併の要旨

### (1) 合併の日程

- 当社ならびにMWD社での
- ・取締役会決議日 2026年2月13日
- ・合併契約締結日 2026年2月13日
- ・実施予定日（効力発生日） 2026年3月31日

なお、本合併は、当社においては会社法第796条第2項に規定する簡易合併であり、MWD社においては同法第784条第1項に規定する略式合併であるため、それぞれ合併契約に関する株主総会の承認を得ることなく行います。

### (2) 本合併の方式

当社を存続会社とし、MWD社を消滅会社とする吸収合併であります。

### (3) 本合併に関わる割当の内容

本合併に際して、新株の発行及び金銭等の割当は行われません。

### (4) 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

## 3 合併当事会社の概要

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
名 称	株式会社fonfun	株式会社マイクロウェーブデジタル
本 店 所 在 地	東京都渋谷区笹塚二丁目1番6号	東京都渋谷区神南一丁目6番5号
代表者の役職・氏名	代表取締役 水口 翼	代表取締役 松井 都
事 業 内 容	DXソリューション事業 クラウドソリューション事業	システム開発 デジタルマーケティング支援 エンジニアリングサービス
資 本 金	1,000万円	2,440万円
設 立 年 月 日	1997年3月3日	2020年11月6日
発 行 済 株 式 数	21,294,120株	2,440株
決 算 期	3月31日	3月31日
大株主及び持株比率	サイブリッジ合同会社	47.29%
	サイブリッジグループ(株)	14.03%
	クリアデラ(株)	4.74%
	賀川正宣	1.65%
	(株)E G I J	1.47%
	2025年3月31日現在	2025年3月31日現在
純 資 産	957百万円	40百万円
総 資 産	2,149百万円	130百万円

1 株当たり純資産	44.54円	16,682.42円
売上高	1,268百万円	526百万円
営業利益	149百万円	1百万円
経常利益	163百万円	1百万円
当期純利益	169百万円	1百万円
1株当たり当期純利益	8.21円	562円

※当社は2026年1月30日付で、株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産及び1株当たり当期純利益を算定しております。

#### 4 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。

#### 5 本合併後の状況

本合併後の当社の名称、事業内容、本店所在地、資本金、代表者の役職・氏名、発行済株式数及び決算期に変更はありません。